

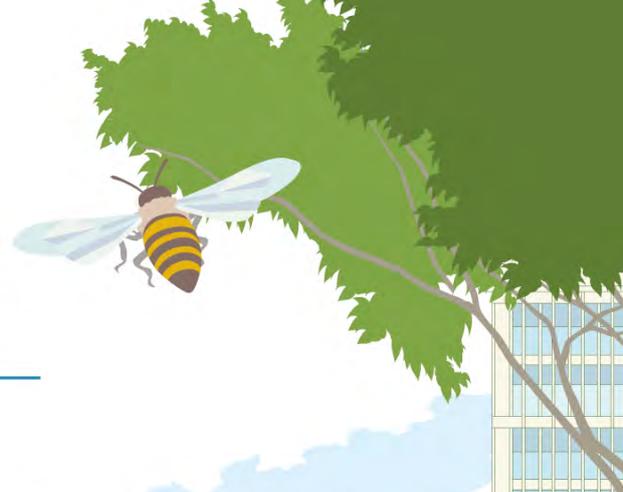
SEIYU

成友興業株式会社

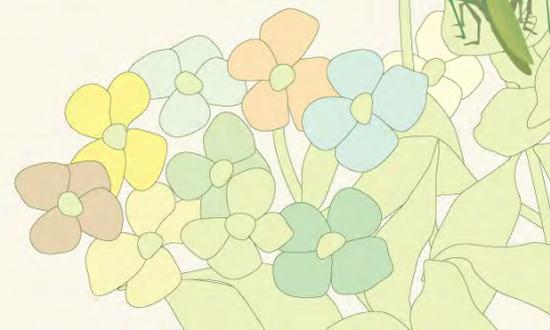
CSR 報告書

— 地域社会・地球環境貢献レポート —

2015



e Synergy System を絶えず進化させることにより、地域社会と地球環境に貢献する。



一動一進 一休一退



「日々少しずつでも考え、行動を起こすことによって、着実に成長することに繋げられるが、反対に、その歩みを止めてしまうと、成長が止まるのみならず後退することになってしまう。」

私どもは常に時代の変化に対応しながら、成長を続けなければなりません。そして、常に成長を続けるためには、その歩みを止めないためのシステムがなくてはなりません。そこで私ども成友興業は、“一動一進 一休一退”を社是とし、この理念のもと、継続的に業務に取り組んでいます。

成友興業には、得意分野である建設事業と環境事業という二つの事業軸があります。両者の相乗効果を発揮してより高い付加価値を生み出し、循環・共生・成長を続ける事業運営システム「e Synergy System」を通じて、地域社会と地球環境へ貢献し続けることが私どもの使命であると考えています。

本報告書では、まず前半で健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスなどの社内体制と、先に述べた「e Synergy System」を紹介しています。

後半では、「成友=ともだちになろう」をひとつのキーワードとして、環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なかかわりその他の企業活動について説明しています。ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役
細沼 順人

会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号 成友興業株式会社
設立 昭和50年3月12日
本社 東京都あきる野市草花1141-1
資本金 2億7200万円
事業内容
舗装工事業、土木工事業
産業廃棄物処理業
汚染土壌処理業 他
従業員数 180名(グループ計311名)
グループ会社
成友セキュリティ株式会社
東京都福生市福生699-3
事業所
東京支店 (東京都中央区)
多摩西事業所 (東京都あきる野市)
多摩北事業所 (東京都武蔵野市)
多摩東事業所 (東京都東村山市)
東京南事業所 (東京都大田区)
埼玉西事業所 (埼玉県所沢市)
あきる野事業所 (東京都あきる野市)
城南島事業所 (東京都大田区)
福生営業所 (東京都福生市)

直近5期の売上高推移



Contents

社是・トップメッセージ	1
会社概要	2
マネジメント体制 企業価値の向上のために	3
e Synergy System 環境に配慮した建設事業モデル	5
地球と、ともだちになろう。 環境のために	7
社会と、ともだちになろう。 社会のために	9
地域と、ともだちになろう。 地域のために	11
安全と、ともだちになろう。 安全のために	13
社員と、ともだちになろう。 社員のために	15
トピックス	17
有識者意見・編集後記	18



企業価値の向上のために



コーポレートガバナンス

成友興業は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけて取り組んでいます。健全な企業経営を行い、持続的な企業価値の向上を図っていくために、実効性のある業務を遂行し、その監督体制を作り上げていきます。

成友興業は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性と透明性を高め、全てのステークホルダーの皆様にご満足いただける魅力的な企業の実現を目指します。

ISOシステム認証

ISO (国際標準化機構) により制定された品質マネジメントシステム規格 (平成13年5月認証取得) および環境マネジメントシステム規格 (平成21年2月認証取得) に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。平成26年2月からは両マネジメントシステムを統合した運用にも取り組んでいます。

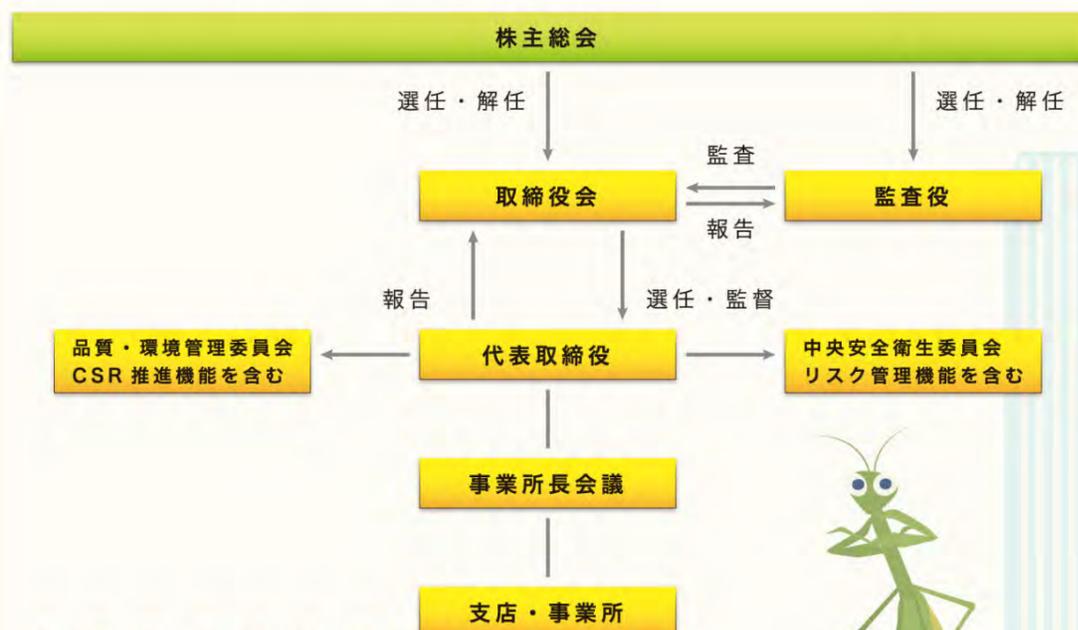
顧客のニーズと期待に応えるとともに環境保全に努めるよう、継続的な改善活動を会社全体で図りながら、企業価値の向上につなげています。

コンプライアンス

企業活動において法令の順守はもちろんのこと、従業員一人一人が倫理的に正しい判断を行うことが重要です。

公正かつ適切に業務を遂行し、信頼される企業経営を確実にするため、社内研修を行い、従業員のコンプライアンス意識の向上を図っています。

また弊社代表は西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会の会長を務めており、成友興業としても反社会的勢力の追放を掲げて業務に取り組んでいます。



内部統制組織図



東京都で民間唯一の 汚染土壌処理業許可取得

土壌汚染が環境問題として認識されて以来、日本のみならず世界中で汚染土壌を適正に処理するために法律・条例等が制定され、規制が強化されています。

成友興業は、東京都で唯一、土壌汚染対策法に基づく汚染土壌の処理業許可を保有している民間企業です。城南島事業所では、汚染土壌の適正処理を通じて、土壌環境の改善に貢献しています。

今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励んでいきます。

建設部門の受賞

成友興業では、東京都内の道路工事を中心とした各種工事を受注しており、発注者である東京都から表彰を受けた施工事例もあります。

最近発注者から高評価をいただいた工事では、現場代理人が、沿道の住民の皆様で構成される協議会より平成26年4月に感謝状を授与されました。



(発注者：東京都建設局)



感謝状受領

コンクリート用再生骨材Hの JIS認証取得

成友興業は、国内で初めて、再生骨材HのJIS規格の認証を取得しました。城南島事業所で生産する再生骨材のうち、平成23年9月に再生粗骨材 (5mm以上20mm以下) が、平成24年1月には再生細骨材 (5mm以下) が日本品質保証機構 (JQA) からJIS認証 (JIS A5021 区分A) を受けました。ともに全国初の認証取得であり、今後の再生骨材の利用促進に拍車がかかることが期待されます。

再生骨材Hは、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートから・戻りコンクリートを破碎し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、バージン材 (天然骨材) と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

これからも製品の品質管理体制を強化して、顧客の需要に応えます。



汚染土壌処理業許可証



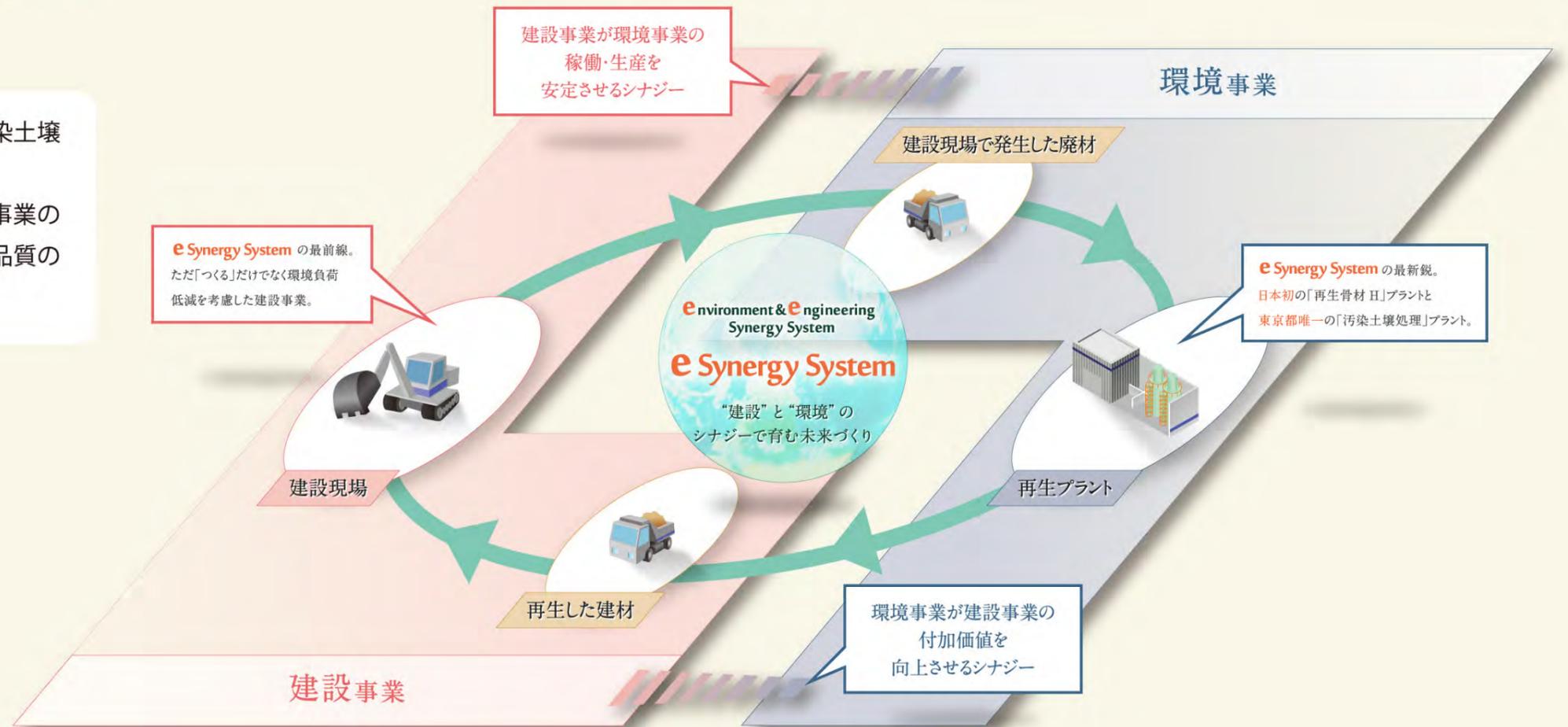
「再生骨材H」の
JISマーク表示制度認定書



環境に配慮した建設事業モデル

建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌などを自社プラントで再生し、建設現場へと戻す。

この環境に配慮した仕組み **e Synergy System** を事業の中心に据え、真の道路メーカーを目指し、サービス品質の向上と環境への貢献に継続的に取り組んでいます。



品質環境方針

e Synergy System を絶えず進化させることにより、地域社会と地球環境に貢献する。

安全衛生方針

考えて、行動しよう。

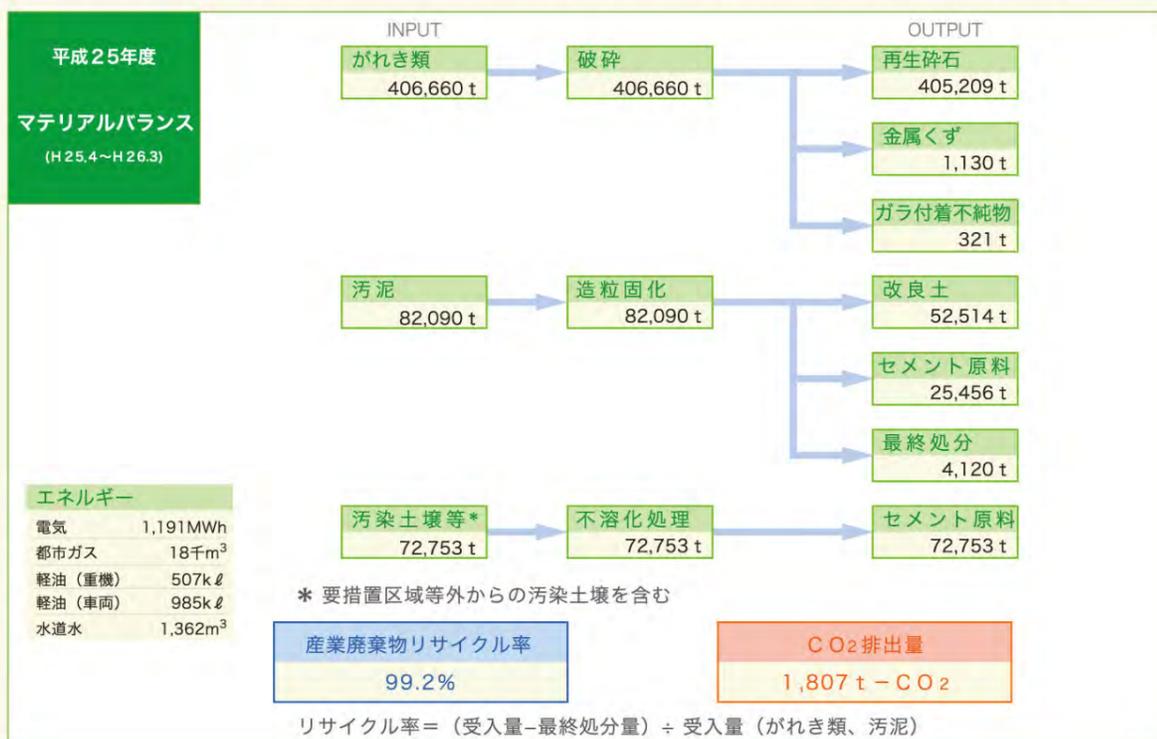




環境のために

マテリアルバランス

成友興業のプラントでは、電力や燃料といったエネルギーを消費して建設廃棄物や汚染土壌のリサイクルを行っています。マテリアルバランスとは、事業活動に伴うエネルギーや物質の収支を意味し、それらを示すことで、事業活動の環境負荷や課題を明らかにするためのものです。



モーダルシフト

不溶化処理済土壌を再処理施設に長距離運搬する際に、船舶も併用することにより運搬業務に伴って排出されるCO₂の削減に努めています。

ハイブリッド建機等の導入

CO₂排出量の削減に少しでも貢献するべく、コマツのハイブリッドショベル HB205をいち早く導入し、あきる野・城南島の両事業所にて稼働させています。また、城南島事業所では屋内作業に伴う排ガス対策として電気駆動式油圧ショベルも導入しています。事業所で使用する重機はエコモードを積極的に活用するとともに、コマツから提供される稼働データをフィードバックすることにより省エネに努めています。

環境対策

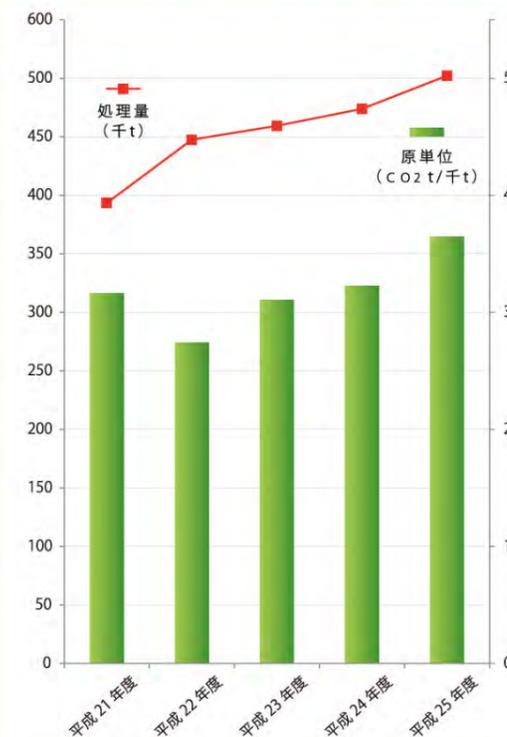
CO₂排出量(原単位)の推移

図は、直近5ケ年度(4月~3月)における成友興業の事業所のプラント処理量の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりのCO₂排出量(原単位:CO₂t/処理量千t)を棒グラフで表現したものです。

平成21年度は城南島事業所の稼働開始もあり、試運転などで原単位が高かったものと推測されます。その後も原単位はいったん減少しながらも緩やかに再上昇しており安定していません。

今後の原単位削減に向けて、データを評価分析しつつ活動して参ります。

直近5ケ年度CO₂排出量(原単位)



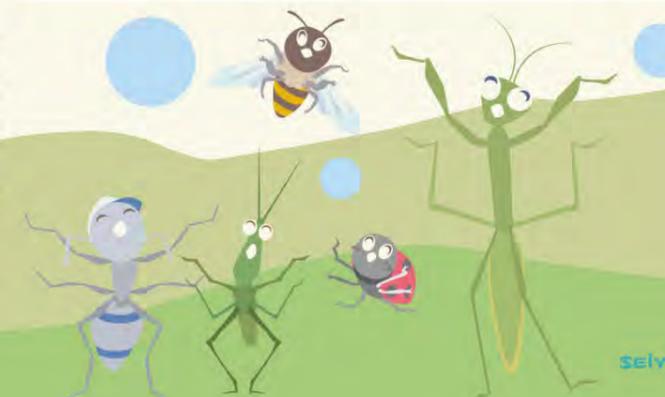
事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島の両事業所では、地元自治体と環境保全協定書を交わし、これらの協定に基づいて日常の公害防止と定期的な環境モニタリングに努めています。モニタリングの測定項目には自主的に設定した項目を追加しています。具体的な測定項目は表のとおりです。

分野	項目	あきる野事業所	城南島事業所
大気	アスベスト測定	年1回	年1回
	ばい煙(ばいじん・窒素酸化物)	—	年2回
	ばい煙(降下ばいじん)	—	年1回
	粉じん(浮遊粉じん)	—	年1回
	粉じん(第二種有害物質) ※セレンを除く	—	3ヶ月に1回
水質	地下水 第一種・第二種・第三種有害物質 BOD, COD, SS	—	3ヶ月に1回
	排水 第二種有害物質	—	3ヶ月に1回
騒音・振動	(単位dB)	月1回	月1回
放射線量	(単位μSv/h)	月1回	月1回
再生砂・再生砕石	六価クロム溶出試験	月1回	月1回
汚染土壌等	土壌濃度計量試験 【溶出量(26項目)含有量(9項目)】	—	月1回
	放射能濃度測定【Bq/kg(wet)】	—	月1回

建設事業における取り組み

建設事業では、舗装工事で発生する廃棄合材量を削減することにより、資源の浪費という地球環境への負荷の低減に取り組んでいます。廃棄合材量をゼロにすることは現実には不可能ですが、緻密な路盤の施工と精密な測量・管理を実施することによって、廃棄合材量を限りなくゼロに近づけるよう努めており、その成果は少しずつ上がりつつあります。



社会のために

施設見学受入

城南島事業所では東京都が主催するスーパーエコタウン見学会にて多くのお客さまを受け入れるのに加え、行政機関、建設会社、設備企業、さらには海外からも見学希望が寄せられます。

成友興業ではその希望に可能な限りお応えし、1年間で400名以上の見学者が来所されます。皆様にリサイクル事業への理解を深めていただく一助としていただいております。



産業廃棄物処理業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団が運営する「産廃情報ネット」にて、産業廃棄物処理業者としての成友興業の情報を公開しています。

また、環境省が推進している優良産廃処理業者認定制度にて成友興業が優良産廃業者に認定され、同省が運営する「優良さんばいナビ」に掲載されています。



学生インターンシップ

近隣の大学や工業高校から職業体験として学生たちを受け入れています。今後も積極的に受け入れたいと考えています。



使用済み切手その他の回収

成友興業は、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会の団体会員となっており、業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して提供しています。あきる野市社会福祉協議会では、収集した使用済み切手をボランティアの手によって剥がして整理し、収集家向けに売却して福祉活動資金の一部としています。

その他、バルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。

column 大田区の小学生が社会見学に来ました

平成26年9月、大田区内の小学校の4年生が、城南島事業所に見学に来ました。多くの見学者を受け入れてきた城南島事業所といえども、小学生の見学は初めてでした。コンクリートがらを再生骨材にリサイクルするしくみを説明したのち、実際に再生骨材を使って生コンを練る体験をしてもらいました。真剣にメモを取り、積極的に作業をしている生徒たちの熱心な姿が印象に残りました。今後、リサイクルについて考えてもらういい機会になればと思います。





地域のために

清掃活動

近隣の皆様と良好な関係を築く活動の一環として日頃から、本社、事業所、各工事現場の周辺で、状況によってはスイーパー車も用いた清掃活動を行っています。

また、城南島事業所では近くの城南島海浜公園にてビーチクリーンアップ活動に参加しています。



地元行事への積極的な参加

JR五日市線秋川駅前通りで行われる恒例のあきる野夏祭りにおいて神輿に参加し、あわせて西多摩建設業協同組合が出店する模擬店に協力しています。

また、4日間をかけて盛大に行われる福生七夕祭りにも協賛しています。



共同防災訓練への参加

防災は地域との連携が重要です。そのため地域の防災訓練には積極的に参加しています。平成25年11月、スーパーエコタウン城南島共同防災連絡会が大森消防署と共同で行っている防災訓練に、城南島事業所の職員が参加しました。訓練では AED の取り扱いについて実習を交えた講習を受けました。

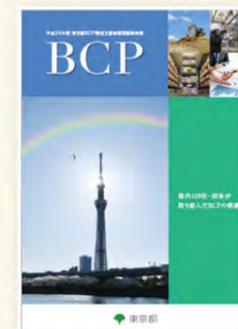


災害対策協定およびBCP策定

成友興業では各地方自治体および国土交通省関東地方整備局の国道事務所と災害対策協定を締結しています。内容は防災だけではなく、災害発生時の道路啓開や積雪時の除雪作業などへの協力も含まれています。

また、成友興業では、東京都産業労働局の支援を頂いて BCP の策定に取り組みました。BCP とは、地震などの災害時を想定した「事業継続計画」のことで、東日本大震災を経て策定する企業が増加傾向にあります。成友興業の BCP の主目的は、発災時には社員及び家族の安否確認を行うとともに、災害対策協定に基づく被災地の道路啓開を優先し、近隣住民の皆様の利便を図ることとしています。内容は下記の URL にも掲載されていますので、ご覧ください。

<http://www.sangyorodo.metro.tokyo.jp/shoko/keiei/BCP/bcp/pamphlet.htm>



緑化活動など

社屋周辺の花壇を整備するなど緑化に努めています。また、夏季には冷房効率を上げることを目的として、壁沿いにゴーヤを栽培し、緑のカーテンを作っています。





安全のために

安全への取り組み

成友興業は、全事業を通じて働くすべての社員が「人命尊重」を基本理念として、災害・事故ゼロを目指すとともに社員ひとりひとりがいきいきと健康的に働ける職場の形成に努めています。

安全パトロール

現場の安全パトロールを成友興業安全衛生協力会とともに月1~2回実施しています。役員によるパトロールも年3回行っており、安全意識を高めるのに役立っています。



安全推進大会など

各事業所では、安全衛生に関する協議会を毎月実施しています。また年に一度、成友興業社員と成友興業安全衛生協力会との合同安全推進大会を開催しています。直近の安全推進大会は、平成26年6月に、武蔵野市の武蔵野スイングホールにて開催されました。社員、協力会社出席のもと、委員長訓話、安全表彰、安全宣言などを行い、東京プロビジョン株式会社代表取締役による「事故ゼロは必ず達成できる！」と題した安全講習会が行われました。



危険予知活動

労働災害ゼロを目標として、リスクアセスメントを含めて作業員全員で行うKY（危険予知）のみでなく、各作業員が作業前に現場で行う一人KYを励行しています。

ヒヤリハット報告会

各事業所で毎月行われる安全衛生協議会において、日常業務で経験したヒヤリハット事例の報告を各班単位で行っています。このような地道な努力の積み重ねで、事故が発生しないうちに危険要因を皆で確認しルールを徹底させることにより災害ゼロに向けて活動しています。

設備や重機等の定期点検

事業所のプラント内各設備は、年に一回の専門業者による点検を実施しその結果により必要に応じて修繕を行っています。業務で使用する重機類は、始業前、月次、年次と項目毎に頻度を変えて点検を実施し、安全に作業できるよう管理しています。ダンプトラックは、運転手による日常点検と指定整備工場による3ヶ月点検、毎年の車検を実施し、整備不良事故ゼロを目指して安全運転に努めています。

成友セキュリティ

工事現場周辺の交通整理や、雑踏警備などで豊富な実績を有する成友セキュリティ株式会社がグループ会社としてあります。このことにより、工事現場での警備員との意思疎通がスムーズになり、安全意識がより高まるなど、社内の安全意識の向上にも役立っています。



ドライブレコーダーを活用した安全教育

安全の向上を図ることを目的として、各ダンプトラックにドライブレコーダーを設置して運転状況の記録を残しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、危険の芽を摘み取るよう活動しています。





社員のために



社員研修

建設事業と環境事業という2つの事業軸を持つ成友興業の社員研修は、職種により違いがあります。建設事業では、建設業法等の規制、環境事業で扱う汚染土壌や産業廃棄物は、土壌汚染対策法、廃棄物処理法等の規制を受けており、各業務を行うにあたり専門的な知識が必要です。

成友興業では、社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識や技術のレベル向上を継続的に図ることで法令の順守や事故の防止に努めています。

新入社員教育

入社後、社内(OJT)と社外(Off-JT)合わせて6ヵ月間の研修を行っています。4月に入社する技術系社員(土木施工管理)については社内で4ヵ月、社外で2ヵ月の研修を行っています。内容として、社内では先輩社員によるマンツーマンでの指導、社外では専門の教育訓練機関で、土木基礎の講義と実習を行いました。



社員の知識・技術レベルの向上

資格取得の奨励

成友興業では業務に必要な資格の取得を奨励しています。資格取得のためには、社内研修を実施し、必要に応じ外部研修も受講出来るようにしています。

環境啓発教育

東京都環境局主催の産業廃棄物適正処理説明会やアスベスト適正処理の講習会等を受講しています。

各種講習会への参加

東京建設業協会をはじめとする各種加入団体や東京都その他が主催する講習会等に積極的に参加できるように努めています。

保有資格



社員の保有資格一覧(平成26年9月30日現在)

資格名	人数	資格名	人数
1・2級土木施工管理技士	37	東京都1・2種公害防止管理者	5
1級造園施工管理技士	5	技術士(資源工学部門)	1
1・2級舗装施工管理技士	7	環境計量士(濃度)	1
廃棄物中間処理施設技術管理士	5	環境計量士(騒音・振動)	1
破碎・リサイクル施設技術管理士	4	土壌汚染調査技術管理者	1
大気関係第2種公害防止管理者	1	エネルギー管理員講習修了者	1
水質関係第2種公害防止管理者	1	第1種衛生管理者	2
ダイオキシン類関係公害防止管理者	1	運行管理者	8

社員旅行・ゴルフ部会

年に1回、全社で社員旅行を実施しています。平成26年6月に、2班に分かれて観光やゴルフで沖縄県を訪ね、普段目にする事のないエメラルドグリーンでのマリンスポーツなど、よい気分転換になりました。また、毎年創業日が含まれる3月に創立記念ゴルフコンペが行われます。その他にも有志によるコンペが数回催されており、社員間の親睦が図られています。



社員表彰

永年勤続表彰および業績表彰、安全表彰の各制度を設けています。



トピックス

東京都のスーパーエコタウン事業の第三次公募にて選定されました。

平成 25 年 12 月 26 日、東京都が国の都市再生プロジェクトの一環として廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めているスーパーエコタウン事業の第三次公募が行われましたが、その整備・運営を行う民間事業者として成友興業が選定されました。

これは、当社が提案した事業計画の安定性及び持続性、技術・システムの先導性等が評価されたものです。新しい事業所は平成 28 年 8 月の竣工を目指しています。詳細は下記の東京都環境局HPをご覧ください。

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/super_eco_town/koubo_result.html

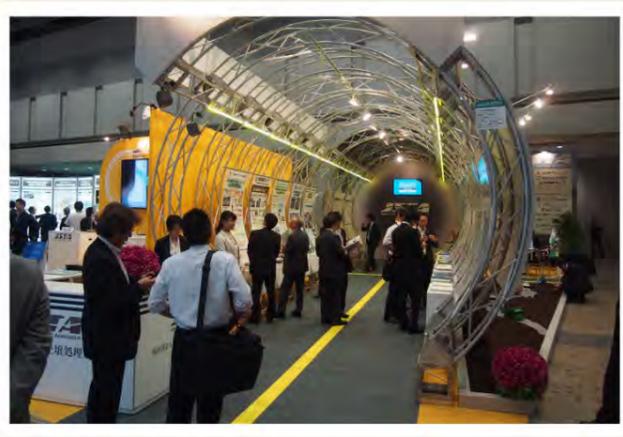
除雪作業の功績により感謝状を受領しました。

平成 26 年 2 月、関東地方には二度にわたり記録的な積雪がありました。その際に実施した都内各所での除雪支援の功績に対し、3 月に東京都西多摩建設事務所長から成友興業に感謝状が授与されました。なお、西多摩建設業協同組合への感謝状の授与も行われ、同組合理事長を務める弊社代表が受領しました。

今後も地域の皆様への貢献を第一に心がけて業務に取り組んでまいります。

土壌・地下水浄化技術展に出展しました。

成友興業は、(一社)日本汚染土壌処理業協会の一員として、東京ビッグサイトを会場に平成 26 年 10 月 15 日～17 日の期間で開催された「2014 地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展」に出展しました。おかげさまで、大盛況のうちに無事終えることができました。協会としての出展ではありましたが事業内容のよい宣伝となりました。多数のお客様から汚染土壌処理に関して、ご意見、ご感想を頂戴することができました。



有識者意見

これまでコンクリート塊は破碎され、再生砕石として道路の路盤材等に 100% 近く利用されてきました。しかし、ここ数年、都市部においては建物更新のための解体に伴うコンクリート塊の大量排出に対し、公共工事の減少による再生砕石の需要減から、再生砕石の滞留が目立ってきています。成友興業が JIS 取得第 1 号となったコンクリート用再生骨材 H は、今後も大量に排出されるコンクリート塊の新たな需要を開拓するものです。成友興業がまさに先鞭をつけたと言えます。

首都圏では、人為的原因、自然的原因を問わず土壌の汚染が多くあります。建設工事に汚染土壌の搬出はつきものと言えます。そうした中で成友興業は土壌汚染対策法の汚染土壌処理施設の許可を取得しています。これも東京都内で第 1 号となります。この処理施設は不溶化処理であるため、処理後もセメント工場での利用など限定的な取り扱いにはなりますが、有利な立地条件を最大限生かして、合理的な汚染土壌処理が行われているようです。

建設汚泥については、私ども建設廃棄物協同組合の一員として、行政、有識者、排出事業者であるゼネコンなどの協力を得て、適法、適正なリサイクル、処理の方法を検討しているところです。

まさに、成友興業は社是である『一動一進、一休一退』を地でいっていると言えます。

さらに、スーパーエコタウン第三次公募で選定された新たな事業は、建設汚泥・埋設廃棄物等の高度洗浄施設とのこと。竣工は 2016 年とのことです。どのような事業展開になるのか、今から楽しみです。社会のニーズに応える成友興業の更なる「一動一進」を期待しています。

建設廃棄物協同組合
理事長

島田 啓三氏



編集後記

成友興業株式会社 CSR 報告書 2015 を最後までお読みいただき、ありがとうございました。内容はいかがでしたか? 「成友興業ってこんな会社だったのか!」という新たな発見はありましたか? CSR への取り組み状況をこのような報告書という形で継続して公表することに対する緊張感を持ち続け、皆様のご期待に沿えるよう、これからも真摯に取り組んで参りたいと思います。

編集にあたってはできるだけ分かりやすく平易な表現を用いるように心がけました。成友興業の CSR への取り組みやその結果に対してステークホルダーである皆様にご理解をいただくとともに、私ども社員も皆様からのご期待に応えられるよう、業務改善や資質向上への更なる努力が必要であると常に考えています。

ぜひとも、巻末に添付したアンケートにご回答をいただき、本報告書を読まれたご感想やお気づきの点など忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

最後になりましたが有識者意見を寄せていただいた島田 啓三氏に感謝するとともに、今後とも責任を伴った企業活動を継続することに努めていきたいと思ひます。

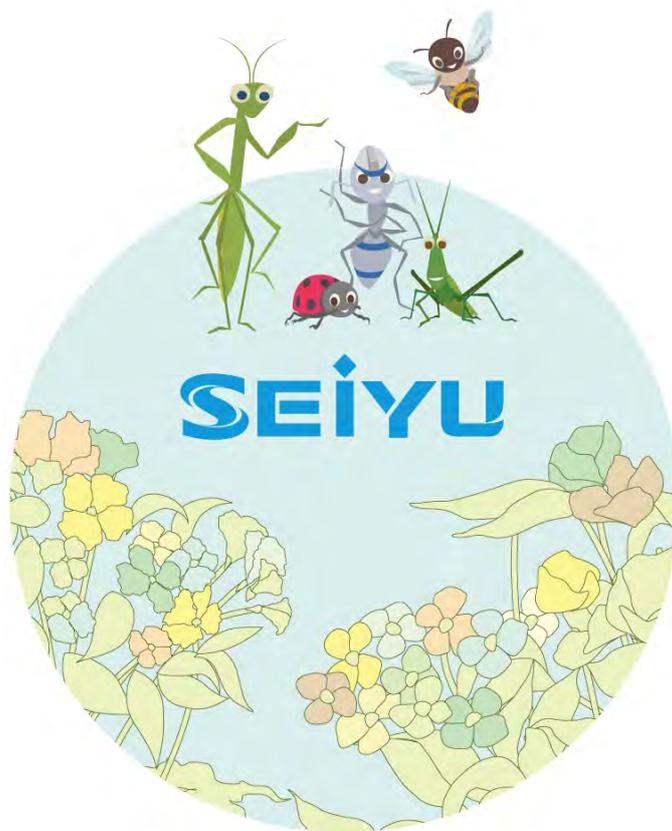
対象期間 平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日 (一部期間外の情報を含む)

発行日 平成 27 年 1 月 31 日

作成部署 成友興業株式会社 CSR 報告書 2015 作成委員会

連絡先 成友興業株式会社管理本部 TEL 042-558-4111 FAX 042-558-4166

E-mail info@seiukogyo.co.jp





CSR報告書2015をお読みいただきありがとうございます。

皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思ひます。

Q1. 本報告書を読まれたの感想をお聞かせ下さい。

[報告書の構成]

- 1) 分りやすさ 分りやすい 普通 分りにくい
2) ページ数・情報量 多すぎる 普通 少なすぎる

報告書の記事の中で不足していると思われる点がありましたらご記入ください。

()

[取組内容]

- 3) e Synergy System 評価できる 普通 評価できない
について
4) 環境のために 評価できる 普通 評価できない
5) 地域社会のために 評価できる 普通 評価できない

特に評価できる(もしくは評価できない)ところはどこでしたか?

()

Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?

- 当社ホームページで インターネット検索で 当社営業マンより
 マスメディア() その他()

Q3. ご意見・ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。

ご住所 〒

ご氏名